

とんぐり村の こみ・すく通信

令和3年3月25日発行 第34号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員)

三校同時に第4回学校運営協議会を その後CS委員会開催

3月5日に改善センターで、前半はそれぞれの学校運営協議会を、後半は感染症対策のため、合同会議の予定を変更してCS委員だけでの会議を行いました。

【三校の学校運営協議会では】

- ・コロナ禍でも、感染対策を取りながら、年4回の会議を開催することができ、委員の皆様から貴重な意見をたくさん伺うことができた。
- ・地域と連携した教育活動は、制限されることや時期をずらして実施されることもあったが、最大限努力して工夫しながら進めることができた。

☆以下のような話し合いもありました。

＜更小＞

- 登下校の見守り活動の在り方
- 参観日の感染対策のための受付業務
- 保育所・幼稚園の保護者にとっても大変参考になったブログの開設

＜上更小＞

- 来年度こそ、地域とともに花壇の取組を
- 今年度の地域と連携した新たな取組の継続（読み聞かせ・陶芸）

＜更別中央中＞

- 授業参観に合わせて実施する運営協議会は来年度以降も継続希望（貴重な機会）
- 子ども会議の児童・生徒の頑張りについて

【CS委員会では】

1 今年度の取組

(1) 今年度の経過（主に会議）

- ・コロナ禍でありながらも、年4回の会議を持ち、主に、コミュニティ・スクールアクションプランの完成に向けて熟議を進めた。
- (2) とんぐり村のこみ・すく通信の発行
- ・コミュニティ・スクールに関する周知及び理解推進のために、分かり易い「こみ・す

く通信」を発行し、村のホームページへの掲載もした。

(3) 今年度の新たな取組

- ・今までも地域の方から、たくさんの学校への支援を受けていたが、今年度は、さらに授業への新しい支援が生まれた。
- ・子どもたちへの応援メッセージ（よさや頑張っているところを伝える）を応援団、地域住民から全19通いただき、子どもたちの自己肯定感につながった。
- ・CSコーディネーターの学校への定期的な訪問により、CSに関わるきめ細かな連絡・調整ができています。
- ・とんぐり村子ども会議の開催により、小中の子どもたちの連携を図る一歩となった。

始めに中村委員長、まとめに荻原教育長から感謝の言葉が述べられた。



(4) みんなの学校応援団の登録

- ・3月5日現在 40事業所・団体、14個人
多くの事業所・団体、個人の方が学校を応援してくださる体制ができあがっている。
※今年度、30事業所・団体、10個人増

2 コミュニティ・スクールアクションプラン

- ・アンケートをもとにCS委員会、学校運営協議会で熟議を重ね、完成。
⇒完成したアクションプランは、4月に小中学校の家庭・教職員へ配布。村広報紙に掲載し、公共施設にも掲示予定。

みんなの学校応援団の活動を紹介<その20>

「どんちゃんLC会」から更小へプレゼント



【神成会長と更小1年生】

☆更別ライオンズクラブ時代は給食の食材費を補助。今後は、村内小中三校に対して、1年に一校ずつプレゼントをしてくださるそうです。

3月17日、学校応援団であるどんちゃんLC会の神成会長が更別小学校に来校し、子どもたちの健全な育成のために役立ててほしいと、学校が希望していた絵本15冊と、ホールに敷くマットをプレゼントしてくださいました。